山北小学校
学校だより
児童一人一人が輝き、夢実現
山北っ子
R1.12.20
第９号
文責
渕上　佳宏

スマートフォン等で学校HPから閲覧することもできます。

学校と地域でつくる学びの未来

あと十日余りで令和元年を終えようとしています。天皇陛下の御即位に関連する行事は全て終わりましたが、元号「令和」初のお正月は、例年以上におめでたさを感じるものとなるのではないでしょうか。

ところで、十一月三十日（土）、和水町三加和公民館において、「くまもと教育の日」の玉名教育事務所管内の地域フォーラムとして、「みんなが主役 地域の宝 ～みらいへの歩み～」と題した「地域と学校の連携・協働」実践交流会が行われました。プログラム②の実践発表及びパネルトークにおいては、本校の「森の学校」が実践発表され、六年生の拓之君と芭菜さん、ＰＴＡ副会長（森の学校正副委員長）の三浦さんと松田さんが発表者及びパネラーとして登壇しました。六年生の二人は、かなり緊張していましたが、本校の「森の学校」の実践をスライドに合わせてしっかり発表してくれました。また、副会長のお二人にも、「森の学校」の素晴らしさをしっかりアピールしていただきました。

このフォーラムは、「地域とともにある学校づくり」が管内に浸透・発展することを意図して毎年行われているものです。本校の場合、「森の学校」以外にも「ふれあい活動」や「どんどや」等、地域や保護者の皆様に支えられた活動が数多くあり、「連携」という面では、全国にでも紹介できる素晴らしい学校だと思っています。しかし、「協働」の側面からは、さらに学校が地域の発展や活性化に貢献できる部分があるかもしれません。

標題は、文部科学省が提唱する「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進のキャッチフレーズです（本校ＨＰからリンクを貼っています）。今後、玉東町でも急速に学校のコミュニティ・スクール化が進むものと思われます。保護者、地域、企業・団体、行政、関係学校・園等の皆様には、さらにお世話になると思いますが、これからもよろしくお願いいたします。

それでは皆様、良いお年をお迎えください。

よく頑張った持久走大会

十二月十一日（水）の二・三校時に、持久走大会がありました。子供たちはこれまでの練習の成果を発揮しようと、とても頑張ってくれました。お友達を一生懸命応援する様子もほほえましく、うれしく思いました。きっと、低学年の「頑張れ！」の声は、立岩方面へ向かう心臓破りの坂を登っている五、六年生に聞こえていたことでしょう。どの学年も、この日に自己最高の記録を出せた児童が大多数だったと聞いています。また、出場者全員が完走できたこともうれしく思います。

当日は平日にかかわらず、多くの保護者、地域の皆様が、沿道に駆けつけ、我が子であるなしに関係なくご声援をいただいていることに感動しました。オープンスクールへのご参観も含め、感謝申し上げます。

十二月二十日の業間の全校集会で表彰（含紹介）した内容をお伝えします。

○ 玉東町「あいさつ声かけ運動」ポスターコンクール　入賞　六年　まさや君
　　入賞　二年　ひいろさん
○ 東部リサイクルフェスタ
　ポスター部門　特選　五年　みらいさん
　標語部門　入選　四年　いお君
○ 玉名・荒尾図工美術展
　特選（代表者）六年　かえで君
　巡回特選　三年　ゆうかさん
○ 読書感想画コンクール
　玉名・荒尾　特選　三年　かこさん
　西日本新聞　特選　一年　ひろみさん
○ 多読賞
　貸出　代表者　一年　りのさん
　貯ページ　代表者　一年　おうすけ君

その他、表彰を受けた子供たちは、学級便り等でも紹介されています。

※　一月八日（水）は、どんどやの振替休業日のため、本校の冬休み後集会（登校日）は、一月九日（木）になります。